組立・施工説明書 エフルージュ トリプル

このたびは、YKK AP エクステリア商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

変更 **L57サイズを4本柱にしました。**

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

説明図中の部品には、＜　＞で同梱先を表示しています。

チェックシート

組立・施工時、本文中に表示している
「**チェックマーク**」の確認をしてください。

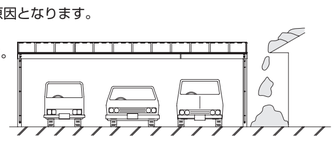
	項　目	ﾁｪｯｸ欄
❶	基礎寸法	
❷	シーリング	
❸	柱の間隔・垂直・対角	
❹	母屋取付ねじの締付け	
❺	柱の水抜き穴	
❻	屋根ふき材ののみ込み	
❼	屋根ふき材押えの押しあて	
❽	屋根ふき材押え取付ねじの締付け	

注　意

●このカーポートは積雪～20cm地域用｛積載荷重600N/m²（61.2kgf/m²）｝です。
積雪量が20cmを超える前に雪おろしをすることを施主様に確認してください。商品が破損するおそれがあります。
※雪おろしの目安は、積雪1cm当たり30N/m²で計算しています。
湿った雪の場合等は、1cm当たりの重さがさらに大きくなる場合がありますので、早めに雪おろしを行ってください。
●カーポートを傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋め込み深さを確保してください。
柱の埋込み深さが確保されないと、商品に倒壊のおそれがあります。
●屋根ふき材の取付けは、基礎コンクリートが確実に固まってから行ってください。
基礎コンクリートは、４～７日の養生期間が必要です。
●脚立を使用する際は、天板の上に乗ること、またがること、座ることが禁止されています。
脚立は、脚立メーカー発行の取扱説明書を必ずお読みの上、ご使用ください。

お願い

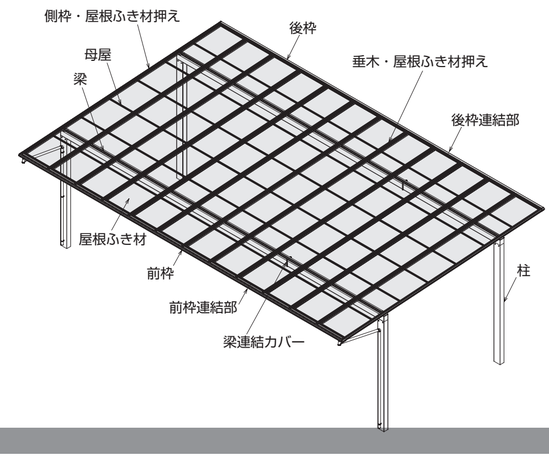
●商品を正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。
●商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。
●屋根からの落雪が予想される場所では、カーポートに直接落雪しないようにご配慮ください。（図参照）
●みだりに改造や変更はしないでください。
●基礎コンクリートには**塩素系の混和剤（急結剤等）や海砂を使用しない**でください。柱の腐食の原因となります。
●屋根面に銀色フィルムを貼らないでください。太陽光線の反射により火災のおそれがあります。
●凍結破損防止のため、基礎部に割栗石、砂利または砕石を敷き、柱に水抜き穴をあけてください。
●組立ては、所定のねじを使用して最後まで締め付けてください。
締め付け不良は漏水や性能低下および事故の原因になります。
●ユニットの組替え等により製作する場合は製作範囲を確認して製作してください。
製作範囲を超えると事故（人損、物損）の原因になります。
●カーポートの上に乗らないでください。カーポートにはしごをかけないでください。
カーポートの破損だけでなく落下事故の原因になります。
●部材を切詰めする際、水密材のかしめ部分を切断する場合は、部材の端部をペンチ等でかしめ直してください。
●取扱説明書・使い方&お手入れガイドブックをお施主様にお渡しください。



シーリングは必ず実施してください！

●「**シーリングマーク**」で表示している箇所の**シーリングは必ず行ってください。**
シーリングがされないと、**漏水の原因**となります。
●ポリカーボネート板へのシーリングは、ひび割れ防止のためと
樹脂との接着性が良い脱アルコール形のシーリング材を
ご使用ください。（別途手配品）

全体構成図



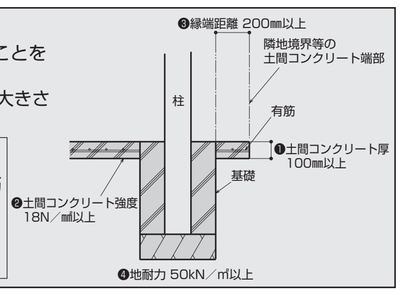
寸法図（単位：mm）

※柱の移動は、±100以内としてください。

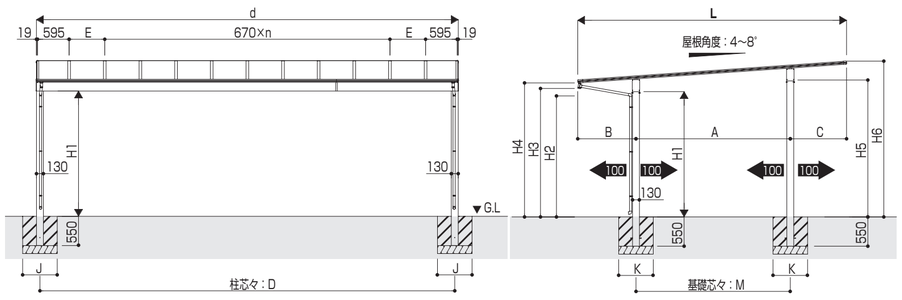
土間コンクリート考慮基礎条件

本基礎の場合は、下記各条件を満たしていることを確認してください。
条件を満たしていない場合は、「独立基礎」の大きさにして施工してください。

基礎条件
❶土間コンクリート厚　：100㎜以上、有筋
❷土間コンクリート強度：18N／㎟以上
❸縁端距離　　：200㎜以上
❹地耐力　　：50KN／㎡以上



■基本セット



●高さH24(=23－55)

長さ	屋根角度	L	A	B	C	H1	H2	H3	H4	H5	H6	M
L51	4°	5052	2900	1094.5	1057.5	2355	2274	2414	2518	2558	2928	2900
	5°	5046	2896	1094	1056	2304	2222	2345	2449		2946	
	6°	5037	2891	1092	1054	2254	2169	2276	2379		2964	
	7°	5027	2885	1090	1052	2204	2117	2207	2296		2982	
	8°	5016	2879	1088	1049	2153	2065	2139	2241		3000	
L57	4°	5768	3300	1252.5	1215.5	2355	2234	2402	2506	2586	2966	3300
	5°	5760	3295	1251	1214	2297	2175	2323	2427		2987	
	6°	5752	3290	1250	1212	2240	2116	2245	2348		3008	
	7°	5740	3283	1248	1209	2183	2057	2167	2269		3029	
	8°	5727	3276	1245	1206	2125	1998	2089	2191		3050	

屋根角度変更時、柱芯々寸法が変わります。(基礎芯々寸法は変わりません。)

●間口方向

呼称	d	D	E
D71	7108	6976	595
D79	7928	7796	670

●土間コンクリート考慮基礎の場合
採用条件については、**土間コンクリート考慮基礎条件**を参照

カーポートサイズ	全サイズ	
	J	K
基礎寸法	600	600

サイドパネル付、飾りパネル付の場合も同寸法です。

●独立基礎の場合

カーポートサイズ	5171・5179		5771・5779	
	J	K	J	K
基礎寸法	820	820	880	880

サイドパネル付、飾りパネル付の場合も同寸法です。

同梱一覧

■柱ユニット DCD-TA24##-#

	部材	部品	
姿図	－		
部材・部品名	柱	たて樋	呼び樋
品番	－	K-34805	K-34805
DCD-TA24AA	2	－	－
DCD-TA24AB	2	－	－
DCD-TA24B-T	2	2(L=2500)	2(L=1300)

■母屋ユニット DCD-TL####

	部材	
姿図	―	―
部材・部品名	母屋 (L=618)	母屋 (L=543)
品番	－	－
DCD-TL5171	42	24
DCD-TL5179	60	12
DCD-TL5771	49	28
DCD-TL5772	70	14

■梁ユニット DCD-TB##

	部材				部品						
姿図	－	－	－	－							
部材・部品名	梁(長)	梁(短)	梁カバー(長)	梁カバー(短)	梁連結金具		座金組込六角ボルト (M10×30)	梁連結材	梁カバー	トラスタッピンねじ (φ5×16)	トラスタッピンねじ (φ5×16)
品番	－	－	－	－	5K-16511	5K-19920	5K-19921	5K-16519	6K-10105	ET-5016	ET-5016
DCD-TB55#	1	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－
DCD-TB56#	1	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－
DCD-TB15A	－	1	－	1	1	－	20	1	1	8	2
DCD-TB23A	－	1	－	1	1	－	20	1	1	8	2
DCD-TB15B	－	1	－	1	－	1	20	1	1	8	2
DCD-TB23B	－	1	－	1	－	1	20	1	1	8	2
備考	外観左	外観右	外観左	外観右						梁連結用	梁カバー取付用

■側枠・垂木ユニット DCD-WC5#-##

	部材			
部材名	側枠	屋根ふき材押え	垂木	屋根ふき材押え
品番	－	－	－	－
DCD-WC5#-##	2	2	3	3
備考		側枠用		垂木用

■前後枠ユニット DCD-TD7#-##

	部材			
部材名	前枠(長)	前枠(短)	後枠(長)	後枠(短)
品番	－	－	－	－
DCD-TD71-##	1(L=5545)	1(L=1525)	1(L=5545)	1(L=1525)
DCD-TD79-##	1(L=5620)	1(L=2270)	1(L=5620)	1(L=2270)
備考	外観左	外観右	外観左	外観右

■垂木ユニット DCD-WE5#-#

	部材			
部材名	側枠	屋根ふき材押え	垂木	屋根ふき材押え
品番	－	－	－	－
DCD-WE5#-3	3	3	3	3
DCD-WE5#-4	4	4	4	4

■部品ユニット DCD-TG####N-##

姿図														
部品名	柱・梁連結金具	柱・梁連結用裏板	垂木取付金具	セッティングブロック	側枠取付金具	緩衝材	屋根ふき材補強部品	スペーサー	パッキン	前枠キャップ(L)	前枠キャップ(R)	後枠キャップ(L)	後枠キャップ(R)	ドレイン
品番	5K-11169	5K-16518	5K-15481	2K-28415	5K-15482	2K-49907	5K-15483	2K-22552	2K-49906	2K-37519 [2K-37523]	2K-37520 [2K-37524]	2K-37521 [2K-37525]	2K-37522 [2K-37526]	2K-31200
DCD-TG5171N-##	4	4	20	20	4	132	4	4	2	1	1	1	1	2
DCD-TG5179N-##	4	4	22	22	4	144	4	4	2	1	1	1	1	2
DCD-TG5771N-##	4	4	20	20	4	154	6	6	2	1	1	1	1	2
DCD-TG5779N-##	4	4	22	22	4	168	6	6	2	1	1	1	1	2
備考				垂木用										

姿図														
部品名	排水部品	梁キャップ	前枠連結材	前枠連結金具	前枠連結金具	後枠連結材	柱アンカー	雨水受け	座金組込六角ボルト (M10×30)	トラスタッピンねじ (φ5×10)	トラスタッピンねじ (φ5×10)	トラスタッピンねじ (φ5×10)	トラスタッピンねじ (φ5×10)	トラスタッピンねじ (φ5×10)
品番	EA-E1	5K-16512	5K-16514	5K-16515	5K-16516	5K-16517	K-11711	3K-21037	5K-19921	ET-5010	ET-5010	ET-5010	ET-5010	ET-5010
DCD-TG5171N-##	2	4	1	1	1	1	4	4	32	80	12	4	4	44
DCD-TG5179N-##	2	4	1	1	1	1	4	4	32	88	12	4	4	48
DCD-TG5771N-##	2	4	1	1	1	1	4	4	32	80	12	4	4	44
DCD-TG5779N-##	2	4	1	1	1	1	4	4	32	88	12	4	4	48
備考			ソリッド部	樋部用	ホロー内用				柱・梁連結用	垂木取付用	側枠取付用	ドレイン取付用	キャップ取付用	前後枠取付用

姿図								－
部品名	トラスタッピンねじ (φ5×10)	トラスタッピンねじ (φ5×10)	中トラスタッピンねじ (φ5×20)	中トラスタッピンねじ (φ5×20)	ねじ穴シール	トラスタッピンねじ (φ5×10)	なべドリルねじ (φ4×19)	組立・施工説明書
品番	ET-5010	ET-5010	EM-5020-D10	EM-5020-D10	K-40433	ET-5010	K-13526	－
DCD-TG5171N-##	252	16	132	2	44	2	16	1
DCD-TG5179N-##	273	16	144	2	48	2	16	1
DCD-TG5771N-##	312	16	154	2	44	2	16	1
DCD-TG5779N-##	338	16	168	2	48	2	16	1
備考	屋根ふき材取付用	前後枠連結用	母屋取付用	母屋取付用予備		予備	梁キャップ取付用	

■屋根ふき材ユニット（厚さ：1.8mm）

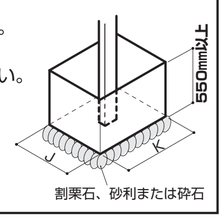
ユニット記号	サイズ 長さ	サイズ 幅	数量
DCD-WF5106-2＊#	4999	585	2
DCD-WF5706-2＊#	5717		
DCD-WF5107-2＊#	4999	660	2
DCD-WF5707-2＊#	5717		
DCD-TF5107-1＊#	4999	680	1

＊#は、屋根ふき材の種類を表します。

組立・施工要領

1.基礎の施工　**寸法図**をご覧ください。

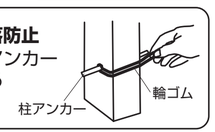
お願い
●地盤のゆるいところでは、
さらに大きくしてください。
●割栗石、砂利または砕石を
敷き均し、突固めてください。



2.柱の建込み・仮固定

キズ防止のため、柱を段ボール等で養生してください。

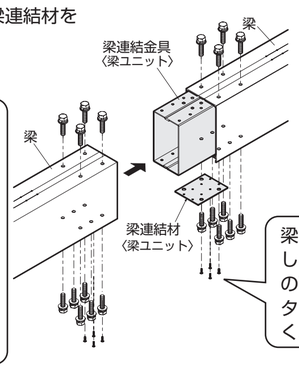
ポイント
柱アンカーの脱落防止
例：輪ゴムを柱アンカーにひっかける



3.梁の連結

❶梁に梁連結金具、梁連結材を取付けてください。

ポイント
L57用梁連結部品（**5K-19920**）には上下があります。
【上面】
【下面】

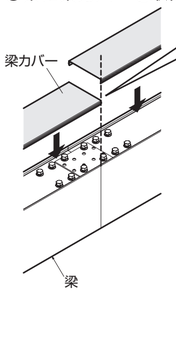


梁連結用	〈梁ユニット〉
座金組込六角ボルト (M10×40)	

梁連結用	〈部品ユニット〉
トラスタッピンねじ (φ5×16)	

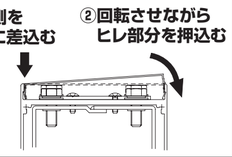
梁連結材はボルトで固定した後、現合で梁にφ4.7の下穴をあけてトラスタッピンねじで取付けてください。

❷梁に梁カバーを取付けてください。

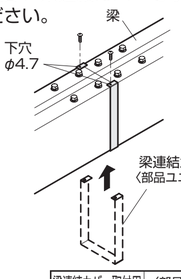


連結部に梁カバーの切断面を合わせてください。

お願い
梁カバー変形防止のため、連結部のボルト頭付近を叩かないでください。



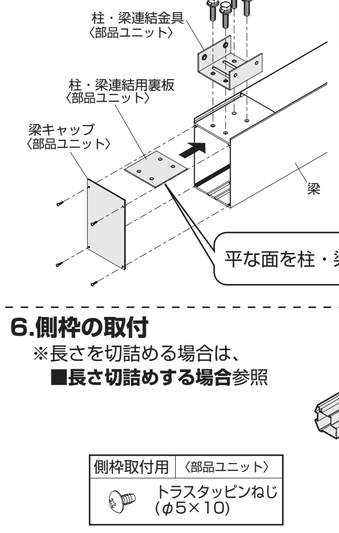
❸連結部に梁連結カバーを取付けてください。



梁連結カバー取付用	〈部品ユニット〉
トラスタッピンねじ (φ5×16)	

4.梁と連結金具の組立

❶梁に柱・梁連結金具を取付けてください。

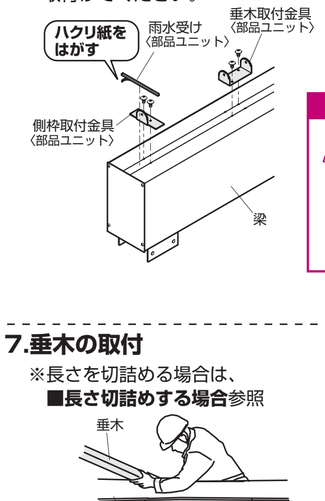


柱・梁連結金具取付用	〈梁ユニット〉
座金組込六角ボルト (M10×30)	

梁キャップ取付用	〈部品ユニット〉
なべドリルねじ (φ4×19)	

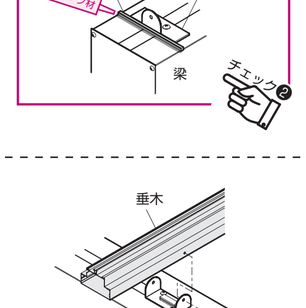
平な面を柱・梁連結金具側にしてください。

❷梁に側枠取付金具、雨水受け、垂木取付金具を取付けてください。

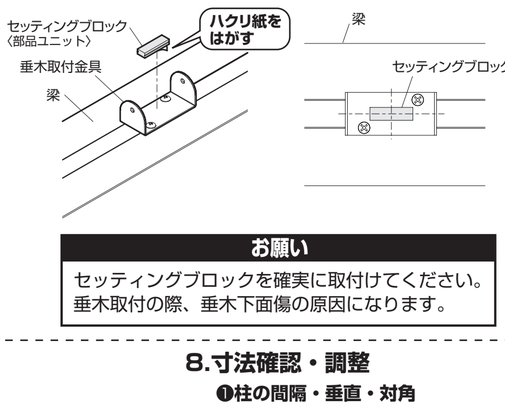


側枠・垂木取付用	〈部品ユニット〉
トラスタッピンねじ (φ5×10)	

シーリング

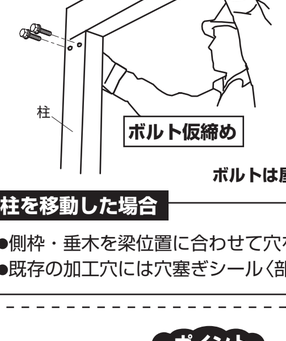


❸垂木取付金具の中央にセッティングブロックを取付けてください。



お願い
セッティングブロックを確実に取付けてください。
垂木取付の際、垂木下面傷の原因になります。

5.梁の取付



梁連結用	〈部品ユニット〉
座金組込六角ボルト (M10×30)	

ポイント
梁連結部を外観右側にしてください。

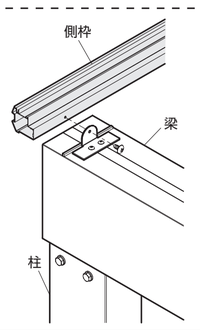
ボルトは屋根組立・寸法確認後、本締めします。

柱を移動した場合
●側枠・垂木を梁位置に合わせて穴をあけてください。
●既存の加工穴には穴塞ぎシール〈部品ユニット〉を貼ってください。

6.側枠の取付

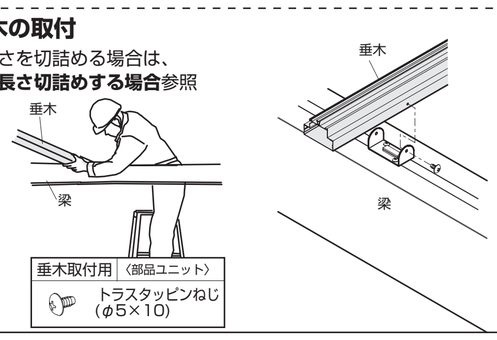
※長さを切詰める場合は、
■長さ切詰めする場合参照

側枠取付用	〈部品ユニット〉
トラスタッピンねじ (φ5×10)	



7.垂木の取付

※長さを切詰める場合は、
■長さ切詰めする場合参照



垂木取付用	〈部品ユニット〉
トラスタッピンねじ (φ5×10)	

8.寸法確認・調整

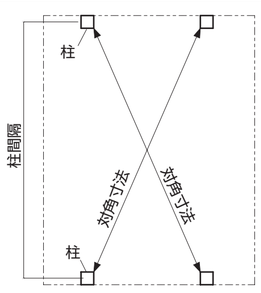
❶柱の間隔・垂直・対角
❷垂木・側枠の屋根角度

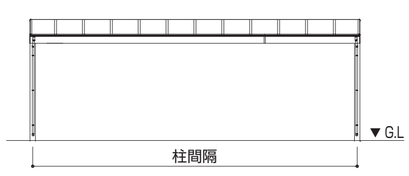
チェック❸

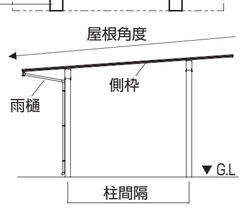
■柱の対角寸法（寸法は調整用の目安）

呼称	屋根角度	L51	L57
D71	4°	7385	7544
	5°	7384	7542
	6°	7382	7540
	7°	7380	7537
	8°	7377	7534
D79	4°	8151	8296
	5°	8150	8294
	6°	8148	8292
	7°	8146	8289
	8°	8144	8286

ポイント
寸法がでていない場合は、部材を動かして調整してください。



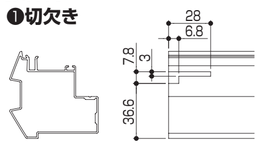




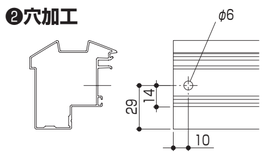
■長さ切詰めする場合

長さ切詰めする場合は、垂木・側枠に切欠き・穴加工をしてください。

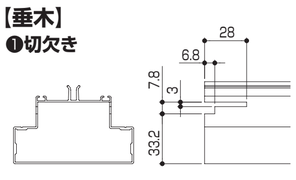
【側枠】
❶切欠き



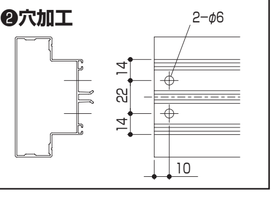
❷穴加工



【垂木】
❶切欠き



❷穴加工



’14-4月改訂

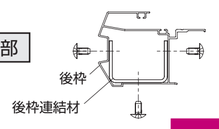
組立・施工説明書 エフルージュ トリプル

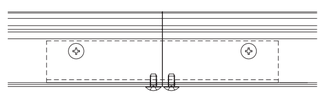
2ページ

組立・施工要領

9.前枠・後枠の連結

後枠部

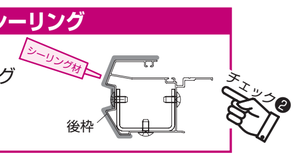




後枠連結用〈部品ユニット〉
トラスタッピンねじ（φ5×10）

シーリング

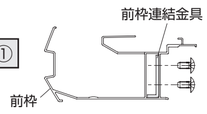
後枠を組立後、接合部にシーリングしてください。

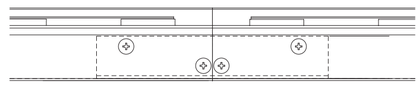


前枠部は①→②→③の順に取付けてください。

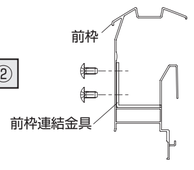
前枠連結用〈部品ユニット〉
トラスタッピンねじ（φ5×10）

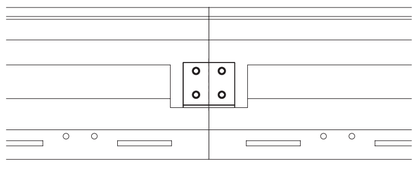
前枠部①



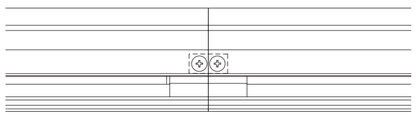


前枠部②



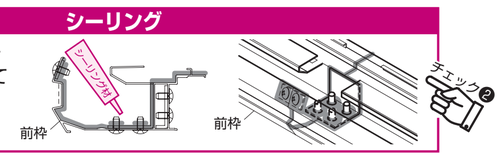


前枠部③



シーリング

前枠を組立後、ねじ部・接合部にシーリングしてください。



10.前枠・後枠の取付

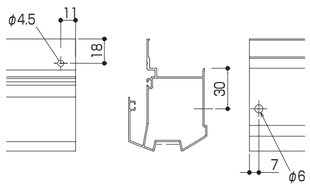
※間口切詰めする場合は、**「■間口切詰めする場合」**を参照

■間口切詰めする場合

間口切詰めする場合は、前枠に穴加工、後枠に切欠き・穴加工をしてください。

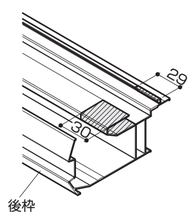
【後枠】

穴加工

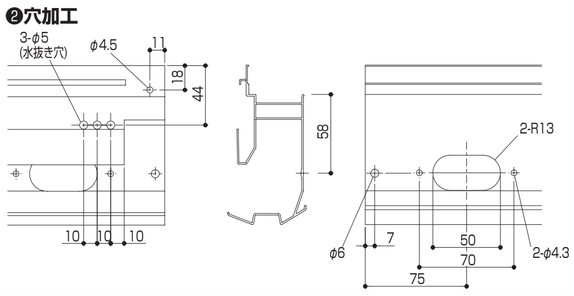


【前枠】

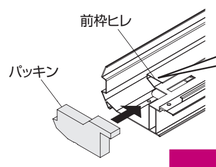
❶切欠き



❷穴加工

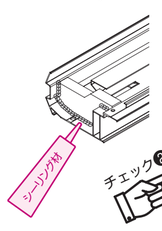


❶前枠にパッキンを取付けてください。



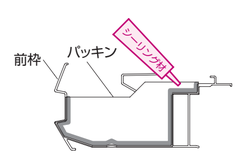
ポイント

後枠ヒレにパッキンを突きあててください。

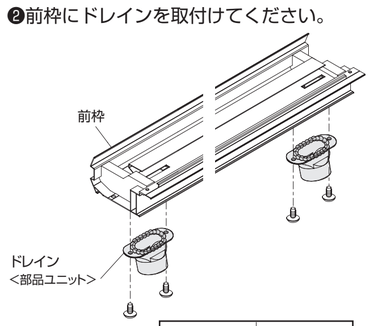


シーリング

パッキンのまわりをシーリング



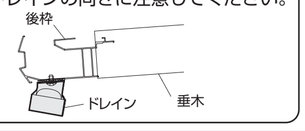
❷前枠にドレインを取付けてください。



ドレイン取付用〈部品ユニット〉
トラスタッピンねじ（φ5×10）

ポイント

ドレインの向きに注意してください。

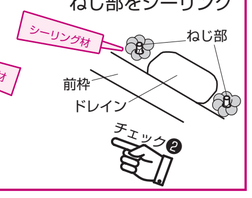


シーリング

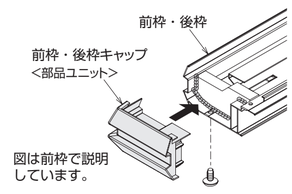
取付前

取付後

ねじ部をシーリング



❸前枠・後枠にキャップを取付けてください。

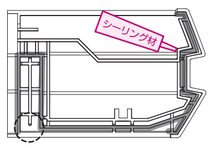


キャップ取付用〈部品ユニット〉
トラスタッピンねじ（φ5×10）

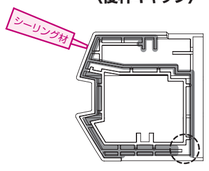
シーリング

シーリング材を充てんし、取付けてください。

〈前枠キャップ〉



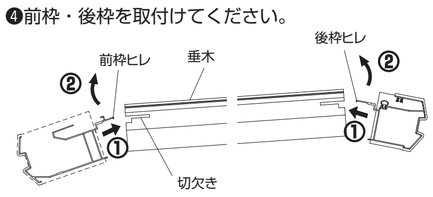
〈後枠キャップ〉



形材内部に浸入した水を排出するため◯位置はシーリングしないでください。

チェック❷

❹前枠・後枠を取付けてください。

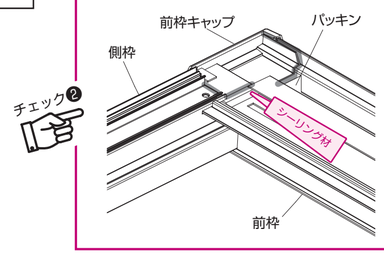


①前枠・後枠のヒレを垂木の切欠きに差込んでください。
②前枠・後枠を持ち上げるようにして、押し込んでください。
③ねじで固定してください。

前枠・後枠取付用〈部品ユニット〉
トラスタッピンねじ（φ5×10）

シーリング

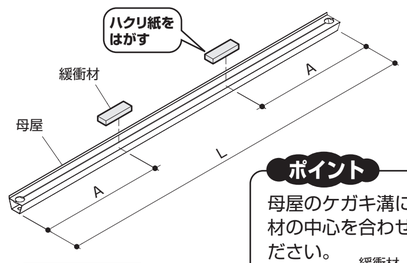
前枠取付後、シーリング



11.母屋の取付

母屋取付用〈部品ユニット〉
中トラスタッピンねじ（φ5×20）

母屋を3等分する位置に緩衝材を2個貼付けてください。



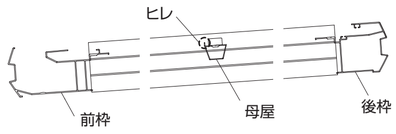
L	A
543	181
618	206

ポイント

母屋のケガキ溝に緩衝材の中心を合わせてください。

ポイント

母屋のヒレを前枠側に向けてください。



お願い

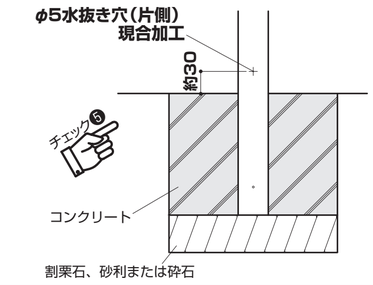
ねじは確実に締付けてください。
雨漏りの原因になります。

12.柱・梁取付ボルトの本締め

❶「8.寸法確認・調整」を参照し、再度寸法を確認してください。

❷柱・梁取付ボルトを本締めしてください。

13.基礎コンクリートの打込み



お願い

凍結破損防止のため、基礎部に割栗石、砂利または砕石を敷き、必ず水抜き穴をあけてください。

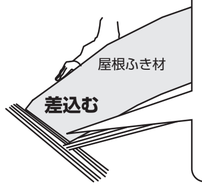
注　意

屋根ふき材の取付けは、基礎コンクリートが確実に固まってから行ってください。
基礎コンクリートは、4～7日の養生期間が必要です。

14.屋根ふき材・屋根ふき材補強部品・屋根ふき材押えの取付

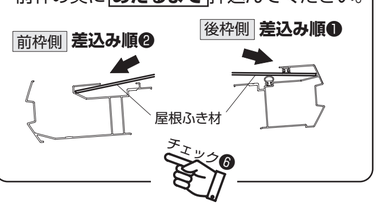
取付前に、屋根ふき材の養生フィルムをはがしてください。

屋根ふき材の取付



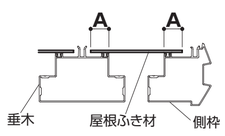
ポイント

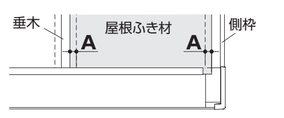
前枠の奥に**あたるまで**押込んでください。



お願い

屋根ふき材ののみ込み**A**が左右同じになるように調整してください。
屋根ふき材の耐荷重性能低下の原因になります。



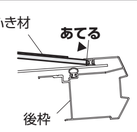


チェック❻

屋根ふき材押えの取付

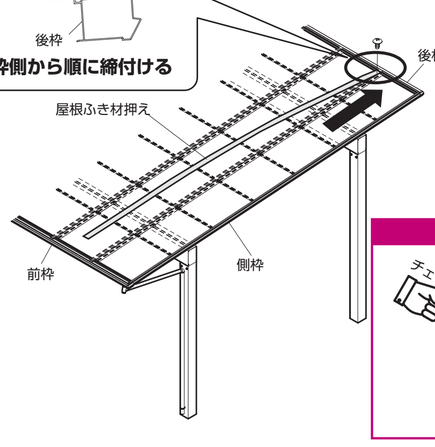
ポイント

●**後枠に押しあてる**



●ねじ止めは、**後枠側から順に締付ける**

チェック❼

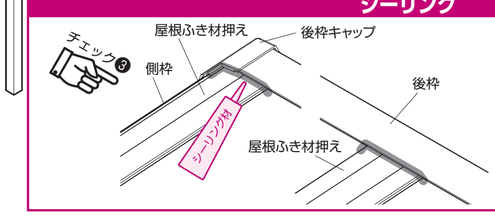


屋根ふき材押え取付用〈部品ユニット〉
トラスタッピンねじ（φ5×10）

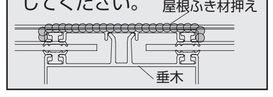
お願い

ねじは確実に締付けてください。
雨漏りの原因になります。

シーリング



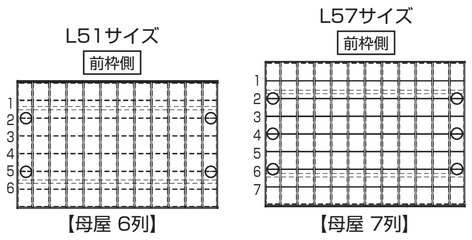
後枠と屋根ふき材押え部は⌐┐字型にシーリングをしてください。

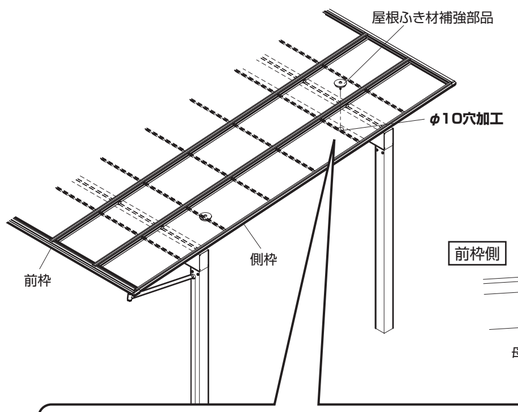


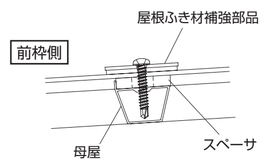
屋根ふき材補強部品の取付

屋根ふき材補強部品の取付けは、屋根ふき材の取付けと同時に行ってください。
屋根ふき材補強部品は、側枠側の1スパンのみに取付けます。

○印=屋根ふき材補強部品取付位置



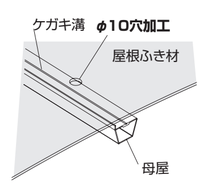




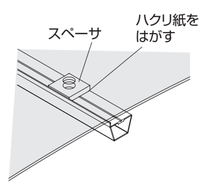
お願い

穴加工後の切削屑は必ず除去してください。

❶屋根ふき材補強部品取付位置に、穴中心が母屋のケガキ溝にあうように、穴加工（φ10）をしてください。

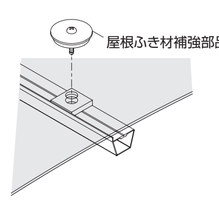


❷スペーサのハクリ紙をはがし、加工穴に合わせて、屋根ふき材と母屋の間に取付けてください。



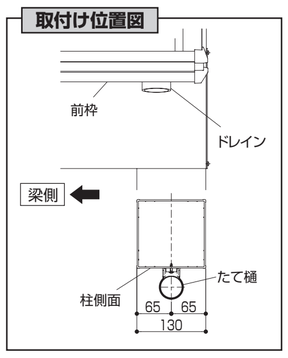
❸屋根ふき材補強部品を取付けてください。

❹❶～❸をくり返してください。



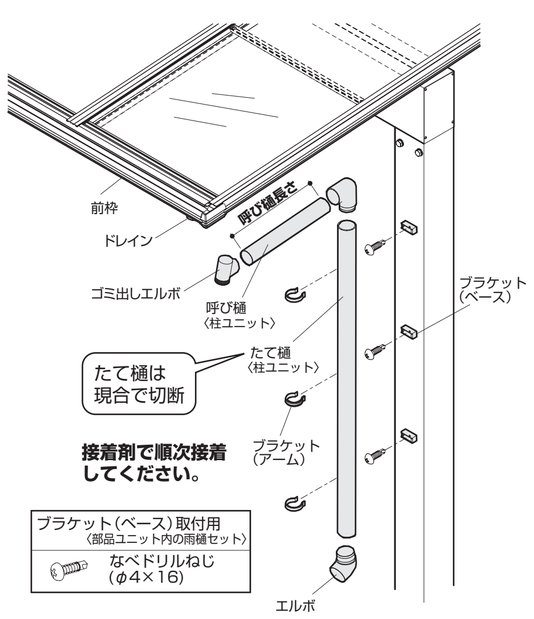
15.雨樋の取付 〈たて樋・呼び樋以外の部品（雨樋セット）は、部品ユニットに入っています。〉

取付け位置図



柱標準位置での呼び樋長さ

呼称	屋根角度	切断寸法
L51	4°	928
	5°	923
	6°	918
	7°	912
	8°	906
L57	4°	1089
	5°	1083
	6°	1077
	7°	1070
	8°	1064



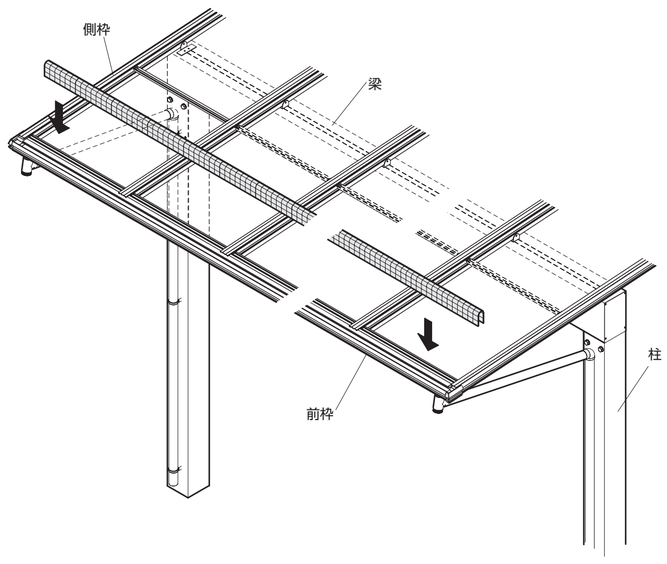
たて樋は現合で切断

接着剤で順次接着してください。

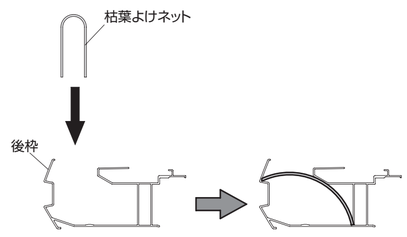
ブラケット（ベース）取付用
〈部品ユニット内の雨樋セット〉
なべドリルねじ（φ4×16）

枯葉よけネットの取付

❶枯葉よけネットを後枠全長に納まる長さに切断してください。



❷Uの字に折り曲げながら、押込んでください。



YKK AP株式会社　YKK APエクステリア株式会社

Printed in Japan

No. XAAAX-K11-655B2 01